

第Ⅰ学年 総合的な探究の時間

■ 探究の全体コンセプト

「地域の歴史に根ざし、未来のアクションを起こし、自己を探究する」

Ⅰ学年は、「自分にできることプロジェクト」をテーマに、学校近隣の水戸城跡エリアを舞台とした探究活動に取り組んでいます。

今年度は、地域課題の発見から解決策の立案までを経験する「プレ探究」を実践します。

生徒は、次の4つの軸を行き来しながら探究を進めていきます。

過去	(地域の歴史): 地域の歩みや先人の想いを紐解く。
現在	(課題発見): フィールドワークをとおして、今の地域の違和感や課題を見つける。
未来	(アクション): 高校生の <u>自分にできること</u> を計画・実行する。
自己	(自己探究): 活動を通じて、「自分は何に興味を持ち、社会に対してどうありたいか」を見つめ、自身の価値観や将来のキャリア形成に繋げる。

■ 全体計画(概要)

1. コース分け・事前調べ学習
2. フィールドワーク(現地調査)で課題を見つける
3. コースごとに気づきを共有(ジグソー共有会)
4. 夏季課題: 個人課題「自分にできることプロジェクト」の計画を立案
5. 事前指導: 夏季課題を持ち寄り、コースごとにプロジェクト意見をまとめる
6. いきいき出前講座(合同講演会)
7. コースごとのプロジェクトを計画・実施・振り返り・改善
8. (2月)探究合同発表会

■ ハイライト① フィールドワーク(7月7日)



7月7日(火)の6時間目、生徒たちは8つのコース(①大手門 ②二の丸角櫓 ③杉山坂 ④鹿島神社 ⑤弘道館 ⑥水戸城跡 ⑦三の丸庁舎 ⑧東照宮)に分かれてフィールドワークを行いました。各クラスから約5名ずつ集まり、コースごとにチームを結成して現地を訪れました。

活動では、思考の視点を広げるためにの視点として「4つの帽子(白:事実・データ/黒:課題・リスク/黄:魅力・可能性/赤:直感・五感)」の役割分担を取り入れました。同じ場所であっても視点を換えることで見え方が変わります。生徒たちは探究の「課題」を発見しようと、普段見慣れた身近な風景を深く観察していました。

翌週7月14日(火)の事後指導ではコースごとに再集結し、各自の視点から気づいたことを発表しました。仲間の発表をとおして、同じ場所でも捉え方によってまったく異なる魅力や課題が見えてくることを深く実感する機会となりました。

■ ハイライト② いきいき出前講座(10月13日)



10月13日(火)の5・6時間目に、水戸市職員の皆さまを講師にお招きし、「いきいき出前講座」を実施しました。学年全体で8つの講座に分かれ、生徒たちは各講座で得た知識や考え方を、それぞれのコースにおける探究活動に生かそうと熱心に耳を傾けていました。

講座	担当
こども育むくらし楽しむみらいに躍動する魁のまち・水戸を目指して	政策企画課
水戸市の公共交通について	交通政策課
情報発信講座	みとの魅力発信課
住みよいまちづくりと地域コミュニティ	市民生活課
水戸の都市計画 ～これまでとこれから～	都市計画課
水戸城復元と景観まちづくり	都市計画課・歴史文化財課
安全なまちづくり講座	生活安全課
こども食堂とフードバンクについて	NPO 法人フードバンク茨城

■ これから

今後は、出前講座で広げた課題の見方・考え方をもとに、コースごとのプロジェクトを計画し、実施します。そして、2年次の外部コンテストなどへの挑戦、3年次の進路実現へと、3年間の探究学習へとつなげてく予定です。

総合的な探究の時間を通して、課題を見つけ、主体的に問いを立て、自ら考え行動できる力を育てていきます。